



PS AUDIO

Owner's Reference

Owner's Reference Stellar™ Strata Amplifier

Instructions for use

取扱説明書



Stellar™ Strata Amplifier



PS AUDIO



安全のために下記の注意事項を守ってお使いください。



警告

- 火事、感電を防ぐため、本体を雨や湿度のある場所に置かないでください。
- 感電などの危険を避けるため本体のカバーを空けないでください。
- 汚れた場合乾いた布で拭いてください。
- 本体の側に可燃物など置かないでください。
- 本体は通気の良い適切な場所に正しく設置してください。
- 電源コードの上に重いものを置いたり、足で踏まないようご注意ください。
- 雷雨や長時間使用しない時などは機器からプラグをはずしてください。
- 接続するときはすべての機器が電源オフになっていることを確認してください。
- ケーブル端子は高品質であることを確認してください。
- 質問等がある場合はお近くの販売店もしくは、輸入元の完実電気までお問い合わせ下さい

同梱品

- 1: 本体 2: 電源ケーブル 3: 取り扱い説明書（日本語、英語）
4: 3P⇒2P アダプター 5: リモコン（*電池が同梱されていませんので、ご注意ください。）

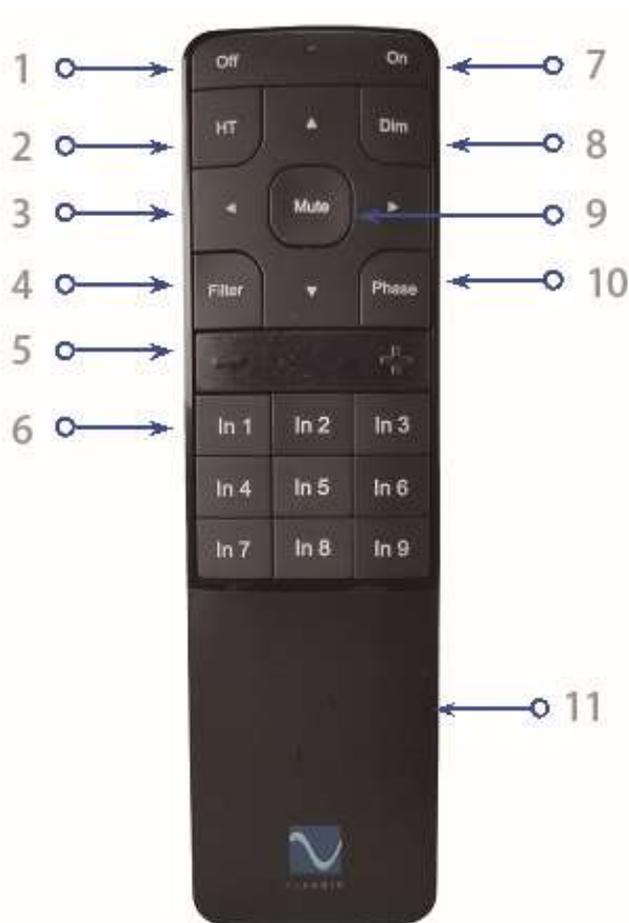


PS AUDIO

Owner's Reference

Owner's Reference Stellar™ Strata Amplifier

リモコン



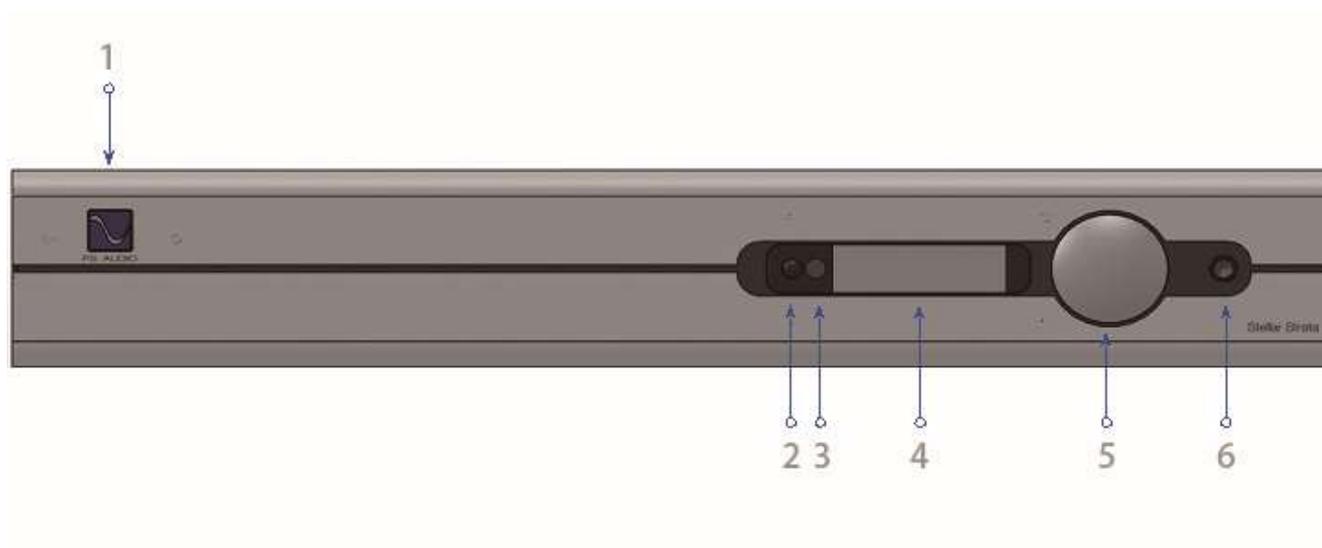
1. Off: スタンバイモードになります。
2. HT: ポリウム値を固定することができます。
3. ▲▼の矢印で、音量のアップ、ダウン、◀▶の矢印で、左右のバランスを調整します。
4. フィルターモード: 順送りでフィルターのモード(F1/F2/F3)を画面に表示させ、選択します (*フィルターモードは、デジタル入力時に使用が可能です。)
5. -/+ : 音量のアップ、ダウン。
6. インプットセレクト:ダイレクトに入力を変更できます。
7. On: 本体の電源が入ります。
8. Dim: ディスプレイの表示を消すことができます。
9. Mute: Mute をかけ音量を一度に下げることが出来ます。
10. Phase 切換え: Speaker の仕様により、切り換えます。
11. このリモコンは単 4 電池が 2 本必要です。(別売)



PS AUDIO

フロントパネル

1. スタンバイ： 本体の電源の ON/OFF をします。
(必ず背面の主電源のスイッチは ON にしておいて下さい。)
2. 入力切替&メニュースイッチ
3. IR センサー
4. ディスプレイ
5. ボリュームノブ
6. ヘッドホン出力端子 (標準)





PS AUDIO

バックパネル

1. 主電源スイッチ（通常は常にオンの状態になります。）
2. 電源ケーブルインレット
3. ファームウェアアップデート用ターミナル（U S Bメモリー用）
4. ネットワーク(LAN端子)
5. オーディオ再生用U S Bターミナル
6. オーディオ再生用光デジタル入力
7. オーディオ再生用同軸デジタル入力（2系統）
8. オーディオ再生用I2S入力
9. Trigger出力(5V、2系統)
10. アナログ出力(RCA)-右
11. アナログ出力(RCA)-左
12. アナログ入力3(RCA)
13. アナログ入力2(RCA)
14. アナログ入力1(RCA)
15. アナログ入力1(Balanced) – 右
16. アナログ入力1(Balanced) – 左
17. スピーカー出力(マイナス) – 右
18. スピーカー出力(プラス) – 右
19. スピーカー出力(マイナス) – 左
20. スピーカー出力(プラス) – 左





設置上の注意

Strata は、使いやすい場所に置くことをお勧めします。棚やキャビネットといった堅固で強度のある水平な場所において下さい。リモコンのセンサー受光部は、本体表示部(ディスプレイ)の左端にあり、リモコンとの間に障害物がないようにしておく、確実に操作をすることが可能です。Strata と Stellar Phono は、他の Stellar シリーズの製品と重ねておいた場合には、一番上におくように設計デザインされています。フィットは取り外さないようにしてください。

また、設置をする際は、空気の循環のよい場所に置き、熱がこもらないようにご注意下さい。ボードやラックへ設置する場合には、音質アップの効果も高いオーディオ用に設計されたラックに設置することをお勧めします。

設置する場所が壁から離れている場合は、シールドがしっかりされたオーディオ用の電源ケーブルを使用下さい。電源ケーブルは長くても、製品の間を結線するオーディオケーブルは短くすることをお勧めします。音質向上のため、PowerPlant のような電源アクセサリ製品を使えば、電源の環境は理想となり、Strata の性能を最大限に引き出すことが出来ます。Stellar PowerPlant3 は、Stellar シリーズ用の電源ジェネレーターとして設計されており、性能、デザインからも、Strata と組み合わせて使用頂けます。<https://kanjitsu.com/product/steller-power-plant-3/>

Analog 入力

Strata には、3系統のアナログ入力が搭載されています。

Analog#1 は、Balanced(XLR)と RCA(unbalanced)両方のケーブルを接続が可能です。Strata の回路設計はバランス回路で設計されているので、Phono アンプといった音質に一番のこだわりのある製品もしくは、バランス回路を基本に設計されている製品の接続をお勧めします。Strata の RCA(unbalance)は、Balance の 2 番 HOT から、直接分岐されているので、unbalance でも Balance 同様に高音質でお楽しみ頂けます。XLR, RCA 同時に接続することは可能ですが、XLR で接続した製品の電源がオフの場合、RCA で接続した製品からの音が出ない場合がありますので、ご注意下さい。Analog#2 は、RCA(unbalanced) だけの接続になります。

Analog#3 は、Analog#2 同様、RCA(unbalanced) だけの接続となりますが、メニュー画面で、Fixed Volume の設定が可能です。Fixed Volume は、メニュー画面上の設定で、自分の好きなボリュームレベルに Strata のボリュームを固定することが可能です。ホームシアター等で、Strata を AV レシーバーのフロント(L/R)に割り当て、パワーアンプとして動作させる場合に便利な機能です。詳細は、メニュー画面の設定をご覧ください。



Analog 出力

Strata には、1 系統アナログ出力(RCA)が搭載されています。Subwoofer や他の機器へオーディオ信号を出力することが出来ます。

Digital Input

Strata には、様々なタイプの 6 系統のデジタル入力搭載されており、CD Player, Computer 等々様々なデジタル機器を接続することが可能です。

Input#4 は、I2S 接続用デジタル入力となります。I2S は、ほぼ全てのデジタルデータの伝送が可能で、さらに、最小規模の動作で、音楽信号の伝達をすることが可能です。Strata の I2S デジタル入力は、PCM-384 kHz/24bit、DSD-128MHz までの入力信号に対応します。

** ご注意: PS Audio の I2S 接続には、HDMI ターミナル、HDMI ケーブルを使用しますが、TV 等に搭載されている HDMI との互換性はありませんので、ご注意下さい。*

Input#5-#6 は同軸デジタル入力となります。PCM-192/24 まで対応、DSD native, DoP は、同軸デジタル入力では対応していないので、ご注意下さい。

Input#7 は、光デジタル入力となります。PCM-96/24 までとなります。

Input#8 は、USB 入力です。USB 入力端子での接続の場合、Strata 本体、接続している PC 本体に電源が入っていることを確認する必要があります。USB 端子経由で音楽信号を再生するには、最適な環境で動作をさせる「ドライバーソフト」が必要です、Mac OS の場合、すでに、ドライバー内蔵されていますが、Windows の場合には、ドライバーソフトを PC へインストールする必要があります。ドライバーは下記にあります。

<https://kanjitsu.com/faq/>

このページにある“PS Audio PWD MK2 USB 2.0 Driver(Windows 専用)”をダウンロード下さい。

Input#9 はネットワーク接続用となります。Strata は、UPNP ベースでネットワークに参加が出来るので、Spotify connect 等でネットワーク上の楽曲を再生することができます。

**Strata のメニューの中に Wifi 機能が使用できるメニューがありますが、日本市場向けに設計されておりませんので、使用されないよう、誠にお願い致します。*



PS AUDIO

Speaker ターミナル との接続

本体 speaker ターミナルは、Stellar シリーズ用に新たに開発されたカスタム品を採用しており、バナナ、Y ラグなど、様々なスピーカーケーブルの形状に対応が可能です。

*** ご注意:** スピーカーケーブルを接続する際には、必ず、本体背面の主電源スイッチをオフにしてください。

Sub woofer との接続

Strata はバランス回路構成で設計されているので、スピーカーターミナルの黒（マイナス）もアンプ側で駆動させており、グラウンド/アースの回路に接続していません。Sub woofer の機種によっては、別途グラウンド/アースを取る必要のある製品もありますが、その際は、アース専用端子へ接続するようにお願いします。

Standby モード

Strata の背面にある主電源は、接続の変更をする以外は、常にオンにしておきます。Strata を使用しない場合は、Standby モードにしておきます。Standby モード時には、Strata から音等は再生されませんが、トランス、コンデンサーは通電しており、本体左上にある Standby スイッチを押せば、電源が入り、すぐ立ち上がれる状態になっています。この操作はリモコンでもおこなえます。

ご注意：Standby スイッチを押した際、極めて小さい音が、Strata から出力される場合がありますが、仕様となります。また、これにより、接続しているスピーカーのユニットには影響はありません。

Trigger

Strata には、システムコントロール用の trigger ターミナルが搭載されています。DC 9V、最大 40mA で動作します。Trigger out からの delay のタイミングも設定することも可能です。Strata 本体のメニュー画面から設定することが出来ます。

Streaming

インターネットに接続して Streaming を楽しむことが出来ます。Strata 本体のメニュー画面から、Network を選択し、設定します。



PS AUDIO

リモコン

Standby モード

リモコン本体トップの ON/OFF で、本体の電源が入ります。

ボリューム アップ/ ダウン

ボリュームのアップ、ダウンは、リモコンの2か所で、操作が可能です。

①リモコン中央部 -/ +、

②中心に Mute のキーが配置されている 矢印 ▲/▼で操作が可能です。

入力切換

キー In 1-9 それぞれのキーを押すとダイレクトに入力を切り換えることが可能です。

Filter/ Phase

In #4-In #9 までのデジタル入力では、Filter/ Phase の操作をリモコンで行えます。

Filter のキーを押す度に、F1/2/3 の表示が順次され、Filter の特性を変更できます。

また、Phase は、一度押すと、逆相(out-of-phase) になり、再度押すと、正相 (デフォルト, in phase) に戻ります。

Dim

Dim キーを押すと、ディスプレイ部の表示が消えます。フロントパネル上のキーやリモコンのキーを押すと、7 秒間再度点灯し、消灯します。Dim は、PS Audio 製品全てに対応していますので、他の PS Audio の製品の表示を一度に消すことも可能です。

HT

メニュー画面で設定する Fixed Volume の設定をリモコン HT キーを押すだけで設定が可能です。Fixed Volume は、メニュー画面上の設定で、自分の好きなボリュームレベルに Strata のボリュームを固定します。ホームシアター等で、Strata を AV レシーバーのフロント(L/R)に割り当て、パワーアンプとして動作させる場合等に便利な機能です

メニュー画面

メニュー画面より、様々設定が可能です。フロントパネルのメニュースイッチを長押し、メニュー顔面に入ります。メニュー画面に入ると Balance(L/R ch)を調整する画面が現れます。更にメニュースイッチを押すと、Phase, Filter 等の設定画面が順次現れます。メニュー画面に入っているときには、画面右上にアイコン(*)が現れます。7 秒間操作をしないとメニュー画面から、メイン画面に戻ります。



PS AUDIO

Balance



メニュー画面に入ると最初に現れるのが、Balance です。Balance を調整することにより、L/R ch のバランスを変更することが出来ます。L/Rch のバランスが、均等の場合は、0（ゼロ）が表示されます。ボリュームノブを右へ回すと、▶の表示が出て1-48まで数字が変わり、最大+12dBの範囲で、R ch のバランスが強くなります。ボリュームノブを左へ回すと、◀の表示が出て1同様に、1-48まで数字が変わり、最大+12dBの範囲で、L ch のバランスが強くなります。Balance の変更をしてホーム画面に戻ると左上にアイコンが現れます。

Phase



デジタル入力(In#4-#9)の Phase の設定を変更することが出来ます。ボリュームノブを右に回すと Norm (正相, in phase) → Invert (逆相, out of phase) に Phase の設定を変更することが出来ます。



Filter

3種類のデジタルフィルターが Strata の DAC 内に搭載されており、デジタル入力 (in#4-#9)で設定することが出来ます。デジタルフィルターによる、アナログ入力への影響はありません。

デジタルフィルターは、フィルターの特性とフィルター使用時に発生するリングングのバランスを取りながら設定されています。



Filter 1- Slow Roll-off, Linear Phase は 高域でのフィルターリングを最小限にしなが
ら、リングングも最小限に抑えています。高域での減衰を抑えたフィルターリング
は、CD や 44.1kHz のサンプリングレートの音源で特に効果を発揮します。リングン
グが少ないため、44.1 kHz よりも高いサンプリングレートの音源にも、影響がなく、
音楽的表現も豊かなため、Strata のデフォルトのフィルターとして選ばれています。

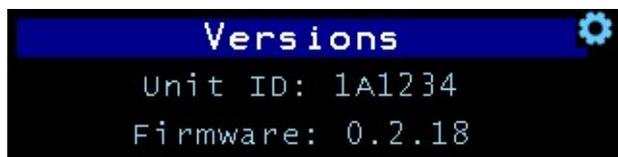


Filter2- Fast Roll-off, Minimum Phase は高域でのフィルターリングもリングングも
強くなっています、好き嫌いはあるかもしれませんが、音楽性にもすぐれた特性とな
っています。



Filter3- Fast Roll-off, Linear Phase は高域特性に優れていながら、リングングも
Filter- 1 と 2 の中間に抑えています。測定値であれば、3種類の Filters のうちで一
番優れた特性となっています。

Version



搭載されているソフトウェアのバージョンをこの画面で確認することが出来ます。
アフターサービスを依頼される際には、ソフトウェアのバージョンを必要とする場
合があります。その際には、この画面でソフトウェアの情報を確認下さい。

その他

Audio System, Network といった画面で、さらに様々な設定をおこなうことが出来ま
す。



PS AUDIO

Input names



各入力の名称を変更、カスタマイズが出来ます。例えば Input# 1 を Phono、や、CD 等に変更することが出来ます。

Volume Trim



各入力の音量レベルを $\pm 10\text{dB}$ の範囲で調整することが出来ます。入力時のゲインを調整することで、入力を切り換えても音量を調整をする必要なく、快適に使えます。

Headphone Trim



Strata には、高品質のヘッドホンアンプが搭載されています。Speaker でのリスニングとヘッドホンでのリスニング時の音量の差を Headphone Trim で調整することが可能です。Volume Trim 同様、 $\pm 10\text{dB}$ の範囲で調整が可能です。

Speaker Maximum Volume



感度の設定が高い Speaker 等を接続した場合、音量レベルが過度にならないよう、ボリュームレベルの最高値を設定することが出来ます。通常ボリュームは 100 まで上がりますが、Speaker Maximum Volume で 80 や 90 に設定し、それよりも音量が上がらないようにすることが可能です。



Fixed Volume at Analog #3



Strata のボリュームの大きさを固定することが出来ます。例えば、Strata をパワーアンプとして使用する場合、AV receiver の FL/FR にアサインする場合等に便利です。Fixed Volume は、Analog #3 入力に対してだけ、設定が出来ます。また、背面の Analog #3 の入力端子に HT の表記を記載し、識別しやすくしています。

System



Trigger, Backlight の明るさ、Display の消灯時間、等の設定が可能です。

Trigger



Trigger から、発信されるリモート信号のタイミングをずらすような設定をすることが出来ます。Strata の電源を入れると同時に、Trigger からリモート信号が発信されますが、そのタイミングを 60 秒御まで、遅らせることが出来ます。

Backlight



Display の明るさを部屋に合わせて 1-10 までの範囲で調整することが出来ます。



Display Timeout



Display の消灯時間を設定することが出来ます。Strata の Display は、本体を一定時間操作しないと Display の消耗を防ぐため、自動的に消灯します。7 種類の設定が可能です。

- ①None(消灯させない)
- ②Auto(Strata にオーディオ信号が入力されると Display が点灯、3 秒間何も動作しなければ消灯)
- ③10 seconds (10 秒後消灯)
- ④30 seconds (10 秒後消灯)
- ⑤1minute (1 分後に消灯)
- ⑥5minute (5 分後に消灯)
- ⑦10minute (10 分後に消灯)

Display Metadata



Streaming source から音楽を再生した場合、Display 上に、曲名と演奏者が表示されます。

PS Audio Access



On にするとネットワーク経由で、PS Audio 本社から、製品の設定や状態を確認することが出来ます。デフォルトは Off ですが、PS Audio もしくは輸入代理店完実電気のリクエストにより、On にして製品の状況をリモートで確認します。



PS AUDIO

Update



PS Audio のサイトにある Strata のファームウェアのアップデートを手動でおこないます。CAT5 以上の LAN ケーブルの使用をお薦めしています。

Factory Reset



Strata の設定状態を工場出荷時に戻します。Strata をカスタム化し、設定した内容は一切消去されますので、Factory Reset をかける際には、十分ご注意ください。

Network sub Menu



「Network」を表示後、メニュースイッチをダブルクリックするとサブメニューに入ります。ここでは、LAN での接続、IP アドレス、接続の状況についての情報を確認することが出来ます。

※Strata には、Wifi connection の機能がありますが、日本国内向け仕様となっております。ご使用しないよう、Off のままで設定を変更せず、ご使用下さい。



PS AUDIO

Owner's Reference

Owner's Reference Stellar™ Strata Amplifier

Stellar Strata

本体重量	9.5kg
本体寸法	430mm x 71.1 mm x 343 mm (W x H x D)
梱包重量	11.3kg
梱包寸法	560 mm x 205 mm x 432 mm (W x H x D)
カラーオプション	ブラック /シルバー
電圧	100V
消費電力	20W (待機)、50W (定格)、600W (最大)
ヒューズ	100V:T250V-250mAH(1/4A Slow Blow)
付属 アクセサリ	リモコン、電源ケーブル、取り扱い説明書 (英、日) 3P⇒2P アダプター
アナログ入力	RCA(アンバランス) 3 系統 XLR (バランス) 1 系統
デジタル入力	I2S 1 系統 PCM (384KHz max, DSD64, DSD128) Coax 2 系統 PCM (192KHz max) Optical 1 系統 PCM (96KHz max) USB 1 系統 PCM (384KHz max), DSD64, DSD128 (native) Ethernet 1 系統 DSD64, DSD128 (DoP)
オーディオ出力	RCA(アンバランス) ステレオペア、ヘッドホン(標準ジャック)
DC トリガー	5V
周波数特性	20Hz – 20kHz(±1dB),7Hz – 40kHz(-3dB)
THD(歪み率)	0.02%(1kHz,10W,4Ω)
チャンネルセパレーション	90dB 以上(1kHz)
S/N 比	110dB 以上(1kHz)
出力	120W 以上(8Ω,1kHz,1%) 150W 以上(4Ω,1kHz,1%)
ヘッドホンアンプ	出力: 300mW(300Ω,1kHz,1%) 3.25W 以上(16Ω,1kHz,1%) 周波数特性: 7Hz – 40kHz(±1dB) SN 比: 110dB(1kHz)



PS AUDIO

この製品について

日本国内でのみ、この製品の保証期間は1年間になります。正規販売店のレシートが保証期間起算日となります。もしレシートがない場合は、製品の製造年月日が保証期間起算日として使用されます。

保証の範囲

正規販売店で購入された製品に部品材料の欠品、製造上の問題での不具合が認められた場合、無償保証の対象になります。必ず購入販売店へご連絡・ご相談下さい。

この保証には以下の条件、制限があります。

マニュアル通り以外の使用による損傷、輸送中の損傷、故意・その他事故による損傷、認定修理工場以外での修理、それによる損傷等の保証は対象外になります。

PS Audio 社は、製品の設計変更、価格、仕様を予告なく変更する場合があります。

アフターサービス

通常の修理は、販売店を通じ正規輸入代理店(完実電気(株))にご送付ください。その際、完実電気(株) が発行している「保証書」を、修理品に同梱下さいますようお願い申し上げます。

その他

製品の外部損傷、事故による損傷等は製品がお手元に届いた時、速やかに販売店へご連絡下さい。速やかなご連絡がない場合、保証対象外になる場合がございます。また、不適切な操作、不適切な電源(電圧等)への接続、製品への改造等が認められる場合、保証対象外になります。 ご注意ください。

輸入元 /  完実電気株式会社
KANJITSU DENKI CO.,LTD

URL : <http://www.kanjitsu.com>

本社 / 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-25 住友神保町ビル
大阪営業所 / 〒532-0012 大阪市淀川西中島 2-14-6 新大阪第二ドイビル 9 階
サポートセンター: info@kanjitsu.com、TEL.050-3388-6838

(受付時間: 平日 10:00-17:00)